

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.1

OKAYAMA GT 300km RACE

2025年4月12日(土)～13日(日) 岡山国際サーキット(岡山県美作市)

■ 予選 7 位からスタートするも不本意な接触により 37 周リタイア ■

土曜日(予選日)の天候は晴。公式練習は9時30分から行われ、吉田選手が最初にコースイン。クルマの感触を確認しながら周回を続け、7周目にピットへ入り野中選手に交代し15周走行。再び吉田選手に交代し、チェッカーまで走行します。ベストタイムは吉田選手が6周目にマークした1分26秒153。順位は12位で、新しいエアロパッケージを投入しているにも関わらず、走り出しから高パフォーマンスを発揮しています。

GT300のノックアウト予選(Q1)は14時から行われ、B組に出場。野中選手は間隔を開けてコースイン。タイヤをしっかりと温め、3周目にアタックを行います。野中選手は1分25秒419のトップタイムをマーク。後からアタックを行ったライバルに抜かれたものの、2位でQ1を突破します。Q2は約20分後に行われ、Q1を突破したA、B合計18台がコースイン。吉田選手も間隔を開けてからコースに入っており、4周目にアタックを行います。他車に引っかかりロスしたものの、2番手のタイム(1分25秒107)をマーク。後続のライバルが吉田選手のタイムを上回っており、続けてアタックを行います。吉田選手は最初のアタックを上回る1分25秒090をマーク。予選7位を獲得しました。

日曜日(決勝日)の天候は雨。昼過ぎには雨が上がる予報が出ているものの、作戦を立てづらい状況です。チームはスタートドライバーに野中選手を起用。雨天でのレースがしばらく続くと予想し、ロングランに適したレインタイヤを選択しています。セーフティカー(SC)の先導でレースが始まり、5周目からレース開始。ところがその直後、GT500車両によるクラッシュが発生し、6周目に赤旗中断となります。約30分の中断のあと、SC先導が再開。中断の間に雨は上がり、路面は乾きはじめており、非常に不利な展開です。11周目からレース開始。路面と合わないタイヤを使用する野中選手のペースは伸び悩み、周回を重ねる毎に順位を落としていきます。14位走行中の14周目、2回目のSC導入。チームは早々に野中選手を呼び戻し、別のタイヤに交換しようとはしますが、タイミングが合わず、ピットに戻ることができません。19周目からレース開始となり、野中選手は17位までポジションダウン。28周目まで走行を続け、ピットに戻ります。吉田選手に交代し、店舗メカニックが給油とタイヤの交換を行ってピットアウト。コースに復帰した吉田選手の順位は27位です。

野中選手と異なるレインタイヤを使用しており、本来の速さを発揮できるか気になるところですが、吉田選手は32周目に1分39秒台をマーク。翌周には1分38秒台をマークし、34周目には26位へ順位を上げます。36周目に上位勢に迫る1分37秒482のベストラップをマーク。ペースを上げていきますが、38周目の3コーナーで#22メルセデスと接触し、コースアウト。なんとかコースに復帰できたもののスロー走行を強いられており、吉田選手はピットに戻ります。店舗メカニックがクルマを確認しますが、接触の影響により車体の一部を破損しており、レース続行は不可能な状況。チームはリタイアを選択し、悔しい37周リタイアとなりました。なお、#22メルセデスには危険なドライブ行為があったと認定され、ドライブスルーペナルティが与えられています。



決勝結果 (GT300 クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹/野中誠太)

決勝: リタイア
(37周, 1時間47分11秒043)
予選: 7位 (Q2: 1分25秒090)

■■■ DRIVERS VOICE ■■■



吉田広樹 選手

予選後：チームは良いタイミングで出してくれたのですが、ウォーミングアップのタイミングが合わないクルマが近くにいました。ロスした部分はあると思うのですが、クルマが良くなっている部分もしっかり体感できています。低中速の両方で体感できているので、チームが冬の間に作り込んできた空力やメカニカルなところが形に現れていると思います。それを出し切るのがドライバーの仕事なので、そういった意味ではもったいなかった部分もあるのですが、今のところ完璧ではないにしろ、順調に進んでいると思います。

決勝後：ペースがなく、イレギュラーな作戦になりました。自分が乗るタイミングで硬めのレインタイヤに交換し、できるだけ引っ張って、そのままレインでいけるのか、スリックに交換するかどうかという状況でした。追い上げている途中で他車と接触し、走れる状況ではなかったので、そのままリタイヤとなりました。接触する前はそれなりのタイムで走っていて、どれだけ追い上げられるかという状況だったので、残念でなりません。コンディションが目まぐるしく変わる中で、うまく合わせきれなかったのと、レインでのペースがなさそうなので、それが今後の課題だと思います。



野中誠太 選手

予選後：公式練習ではユーズドタイヤしか履いてなかったので、予選で初めての新品タイヤを履きました。岡山の公式テストには行けませんでしたが、限られた時間の中でのアタックとなり、不安もありましたが、クルマのパフォーマンスがかなり高く、思い切ったアタックができました。B組2番手につけることができ、去年と比べてクルマの進歩を確認できました。明日は雨予報で、今日のドライのデータがあまり参考にならないので、不安がたくさんあります。荒れたレースになると思うので、変なミスがないように落ち着いて頑張りたいと思います。

決勝後：ソフト側のタイヤをつけてスタートしたのですが、赤旗の影響で天気が落ち着き、路面が乾いてきてしまい、かなり不利になってしまいました。赤旗中断後のペースはかなり悪く、雨量がどんどん減っていく中で、タイヤ的にかかなり厳しかったですし、後続をおさえられるようなペースもなかったため、非常に苦しいレースになりました。早めにハード側のレインタイヤに交換し、ドライコンディションになるまで引っ張ろうという作戦ではあったのですが、タイミングが合わず、そのチャンスも逃してしまいました。できることは限られていたと思います。

GT300 クラス決勝結果

順位	車番	車名(車両)	周回数
1位	65	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	79周
2位	26	ANEST IWATA RC F GT3 (レクサス RC F GT3)	79周
3位	56	リアライズ日産ムックチャレンジGT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	79周
4位	4	グッドスマイル 初音ミク AMG (メルセデス AMG GT3)	78周
5位	9	PACIFIC アイドルマスター NAC AMG (メルセデス AMG GT3)	78周
6位	96	K-tunes RC F GT3 (レクサス RC F GT3)	78周

リタイヤ：52 Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra) 37周

天候：雨、曇 路面：ウェット、ドライ トップ6まで (出走28台)

GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	65	K2 R&D LEON RACING	28
2位	26	ANEST IWATA Racing	23
3位	56	KONDO RACING	19
4位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	16
5位	9	PACIFIC RACING TEAM	14
6位	96	K-tunes Racing	13

トップ6まで

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシエ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カーグラス・JP



株式会社カロッツェリアジャパン



埼群スリーボンド株式会社



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



ティーズ・ワークス



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ

第2戦 5月3日~4日
(富士スピードウェイ)